

東海経済レポート(2021年11月)

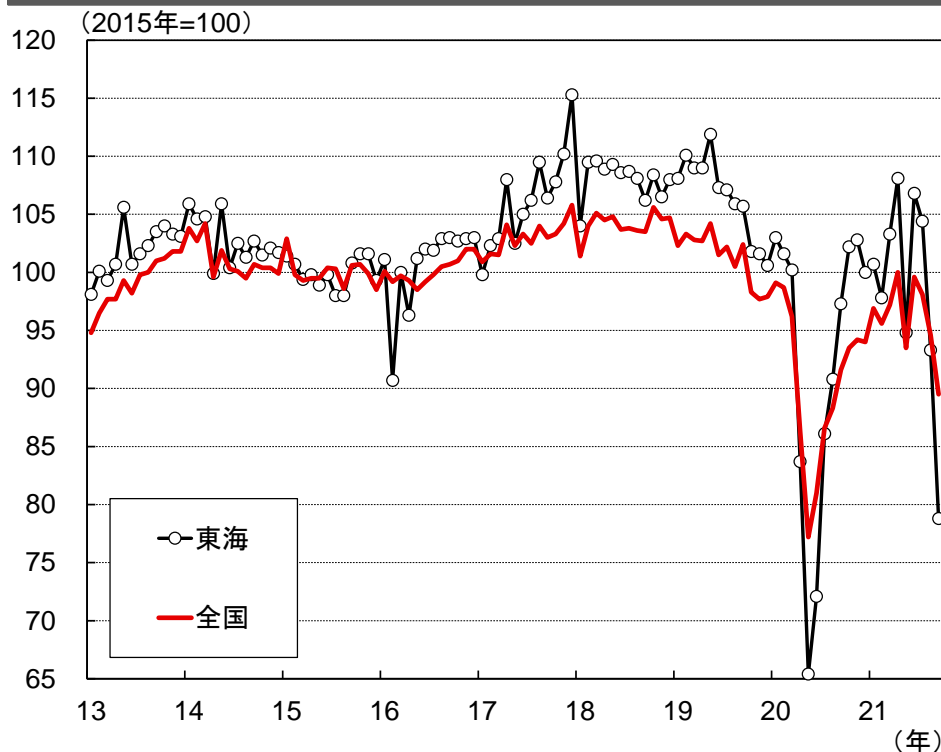
2021年11月19日

三菱UFJ銀行 経営企画部 経済調査室(名古屋)

概況・生産

- 東海経済は緩やかな持ち直しの兆しがみられる。先行き、企業部門は、半導体不足の解消には不透明感が残るものの、部品調達難のもうひとつの原因となった東南アジアのデルタ株蔓延は落ち着いてきており、輸出先各国の景気回復が継続する中で持ち直しを続ける見込み。
- 家計部門では、政策効果や巣ごもり需要で押し上げられた耐久財がピークアウトする一方、感染収束を受けた行動制限緩和の進展でサービスが復調に向かうことで、個人消費は全体として緩やかな回復を続ける見通し。
- 9月の鉱工業生産指数(速報)は前月比▲15.5%と3ヵ月連続で低下、水準は78.8とコロナ禍直前の2020年2月(101.6)を大きく下回っている。業種別にみると、生産用機械が同+2.4%と上昇した一方、部品不足の影響で当地域主力の輸送機械が同▲25.9%と大きく減少したほか、電子部品・デバイスが同▲4.5%、電気機械が同▲4.2%とそれぞれ減少。

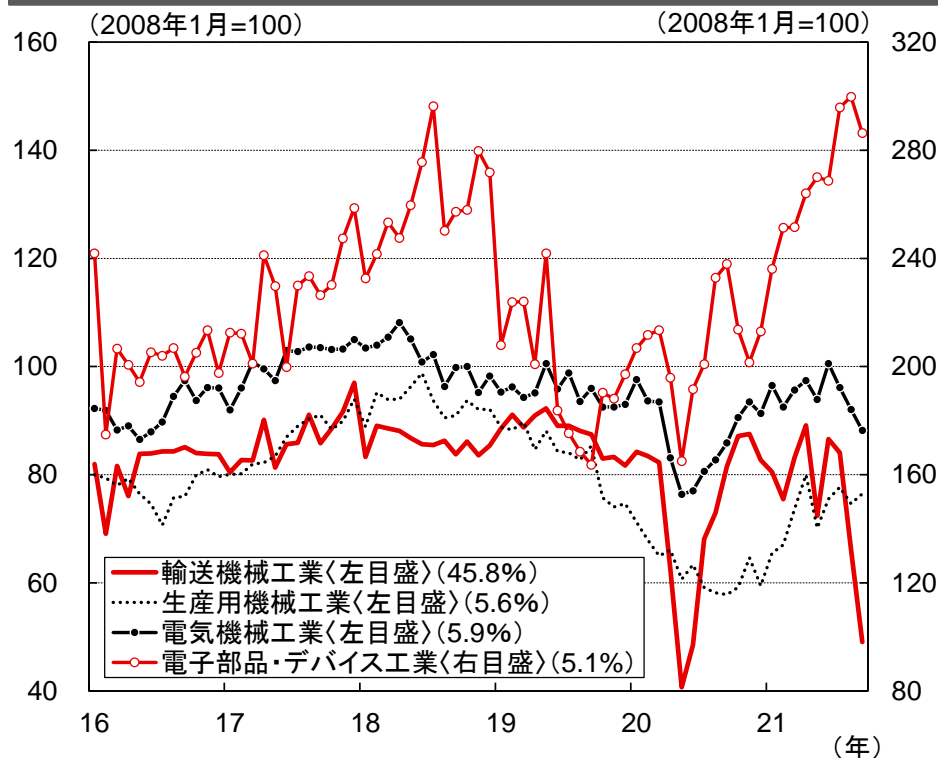
鉱工業生産指数



(注)『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。

(資料)中部経済産業局統計等より三菱UFJ銀行経済調査室作成

業種別の鉱工業生産指数(東海)



(注)1.『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。

2. ()内の数値は、業種毎の付加価値額の比率(平成27年基準。中部経済産業局算出)

(資料)中部経済産業局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

景況感・輸出

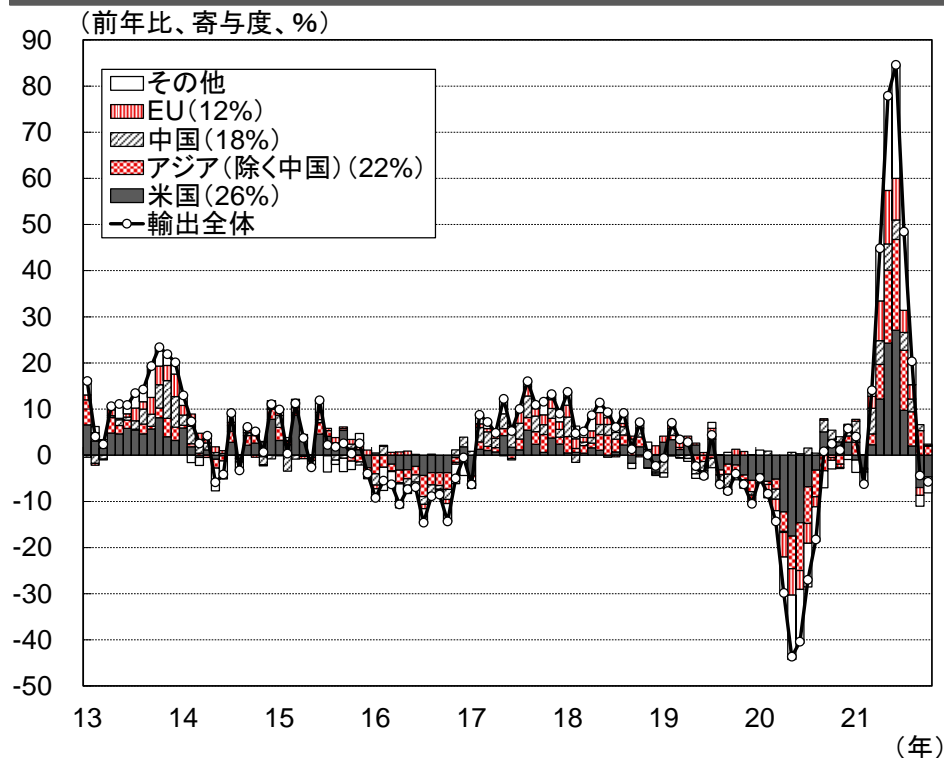
- 10月の景気ウォッチャー調査の現状判断DIは、54.9(前月比+12.8ポイント)と2カ月連続で改善。東海4県の緊急事態宣言が9月末に解除され、これまで抑制されてきた人出・対面サービス消費回復への期待感などが影響。
- 10月の輸出額(円ベース)は前年比▲5.7%と2カ月連続で減少、金額は1.4兆円とコロナ禍前同月(1.5兆円)を下回った。地域別では、アジア(中国除)向け(同+9.7%)、EU向け(同+2.8%)、中国向け(同+0.6%)が増加したのに対して、米国向け(同▲16.7%)が減少。品目別では、工作機械(同+83.8%)、一般機械(同+16.9%)、電気機器(同+6.5%)が増加した一方、自動車(同▲35.4%)は大幅に減少。

景気ウォッチャー調査(現状判断DI)



(注)『東海』は愛知、岐阜、三重、静岡の4県。
(資料)内閣府資料より三菱UFJ銀行経済調査室作成

輸出額(東海)



(注)1.『東海』は名古屋税関管内(愛知、岐阜、三重、静岡、長野)。
2. ()内の数値は2020年輸出総額に占めるシェア。
3. EUの増減率は加盟国の増減を踏まえて算出。
(資料)名古屋税関統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

設備投資・機械受注

- 4-6月期の大企業の設備投資は前年比▲15.4%と2四半期連続で減少。製造業が連続して大きく減少したほか、非製造業も減少幅を拡大させた。
- 10月の全国の工作機械受注額は前年比+81.5%の1,492億円と12カ月連続でプラス。このうち、外需は同+85.5%と12カ月連続で増加、内需は同+74.0%と8カ月連続で増加。

大企業の設備投資



(注) 1. 『東海』は愛知、岐阜、静岡、三重の4県。
 2. 資本金10億円以上の企業を対象。
 3. 設備投資額はソフトウェアへの投資を除いた金額。
 4. 1社あたり投資額は設備投資額合計を回答法人数で除して算出
 (資料) 東海財務局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

工作機械受注額(全国)

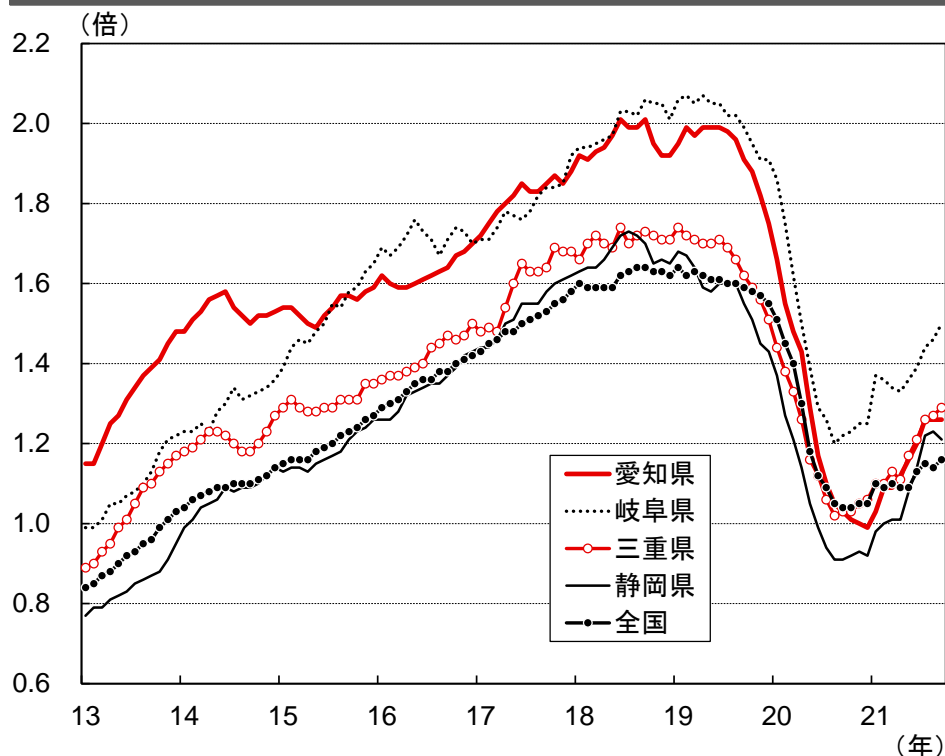


(資料) 日本工作機械工業会統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

雇用・所得

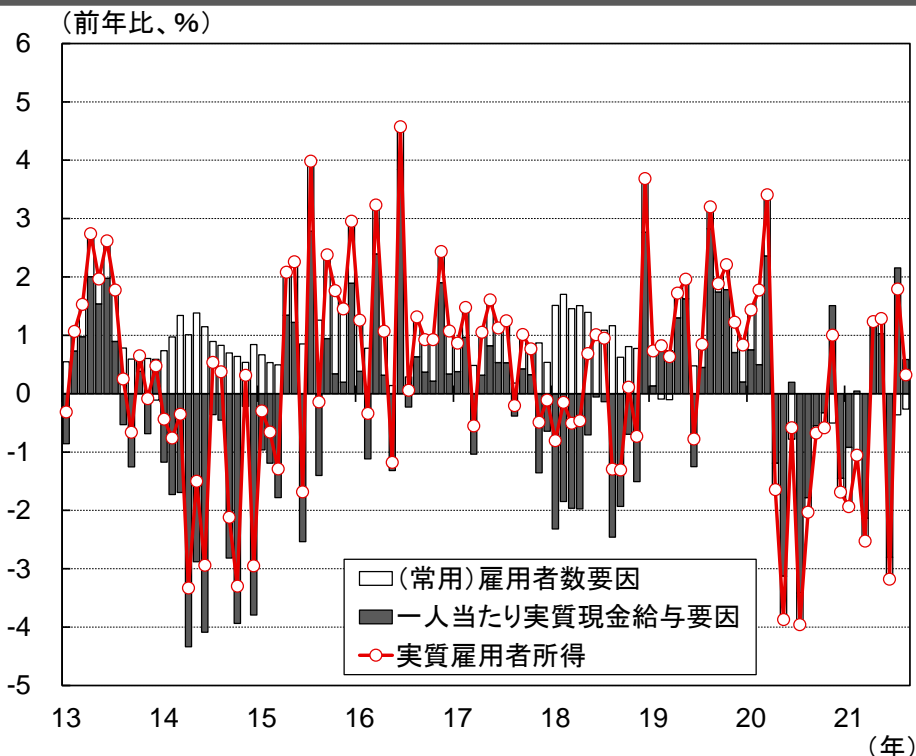
- 9月の有効求人倍率は、愛知県は横這い、岐阜県と三重県は上昇、静岡県は低下。東海4県の水準はいずれも全国を上回った。
- 8月の実質雇用者所得(3県合算)は前年比+0.3%と2カ月連続で増加。一人当たり所得の増加が全体を押し上げ。

有効求人倍率



(資料)厚生労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

実質雇用者所得(東海)

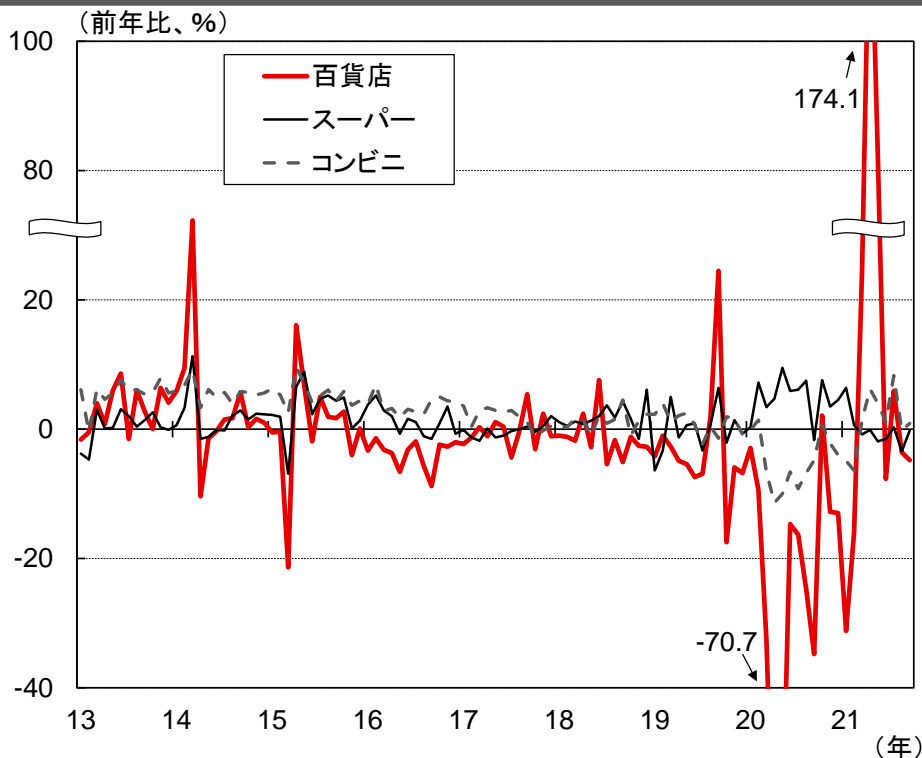


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。
(資料)各県勤労統計、内閣府資料より三菱UFJ銀行経済調査室作成

個人消費・住宅投資

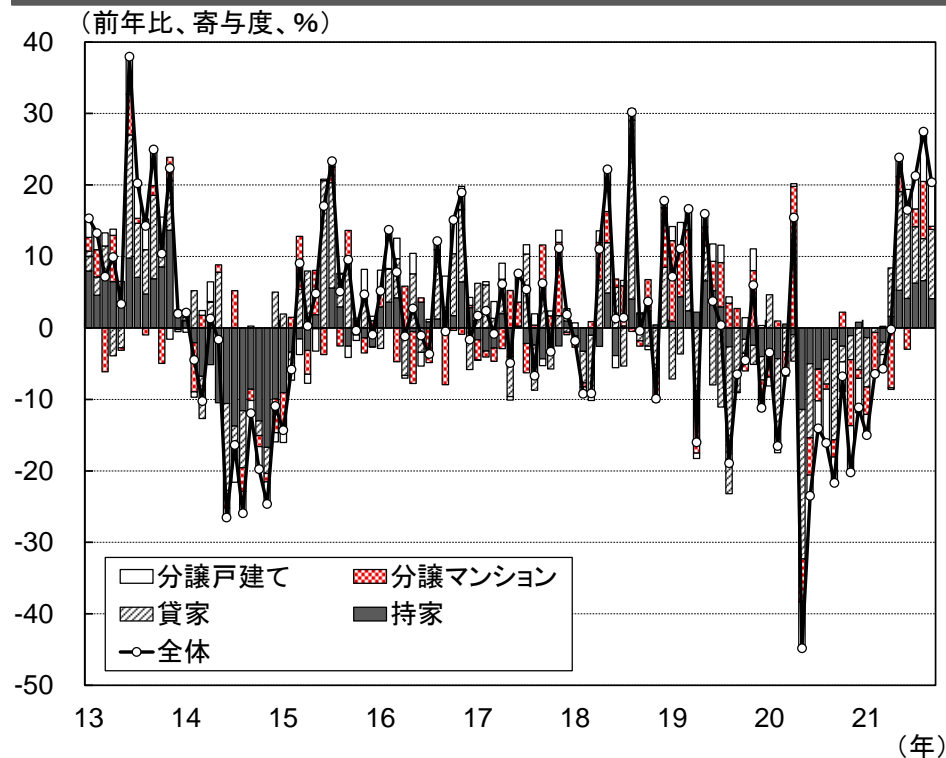
- 9月の小売主要3業態の販売額は、コンビニが前年比+0.9%の増加に対して、百貨店は同▲4.8%、スーパーは同▲0.2%と減少。金額ではスーパーが1,456億円とコロナ禍前同月(1,418億円)を上回る一方、百貨店は308億円と同6割程度、コンビニは1,006億円と同9割程度と低調。
- 9月の新設住宅着工戸数は年率8.2万戸、前年比+20.4%と5か月連続で増加。用途別では、分譲戸建て(同+36.3%)、貸家(同+32.7%)、持家(同+9.7%)、分譲マンション(同+3.8%)、といずれも増加。水準はコロナ禍前同月を6%程度下回った。

小売主要3業態の販売額(中部)



(注)『中部』は愛知、岐阜、三重、富山、石川の5県。
(資料)中部経済産業局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

新設住宅着工戸数(東海)



(注)『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。
(資料)国土交通省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

原油価格・円相場・株価

- 原油価格は約7年ぶりの高値水準である80ドル台まで上昇。世界経済の回復に伴う原油需要の持ち直しに加え、脱炭素化の流れにより化石燃料の生産が抑制されるとの観測などが背景に。
- ドル円相場は足元1ドル114円前後で推移。米国では徐々に利上げが視野に入ってきていることから、当面は金利差による円安圧力が意識され易い地合いが続く見込み。
- 日経平均株価は、岸田政権による経済対策への期待などから29,000台で推移。

原油価格



(注)『原油価格』はWTI先物。
(資料) Bloombergより三菱UFJ銀行経済調査室作成

ドル円相場・日経平均株価



(資料) Bloombergより三菱UFJ銀行経済調査室作成

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記して下さい。

会社名：株式会社三菱UFJ銀行 経済調査室
〒460-8660 愛知県名古屋市中区錦3-21-24

照会先：中村 拓郎 e-mail：takurou_nakamura@mufg.jp